

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日 時：平成 27 年 6 月 26 日(金)

展開学級：1 年 B 組(39 名)

展開場所：被服室

授 業 者：中村 聡未

1 題材名 身近な消費生活と環境 ～生活情報の活用と商品の価格～

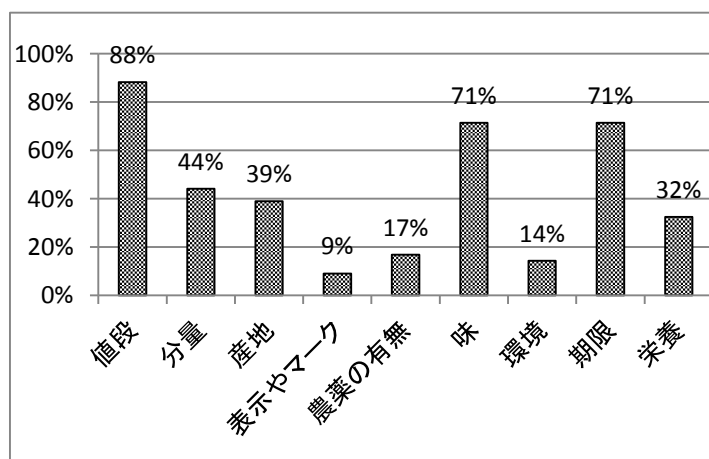
2 題材について

〔題材観〕

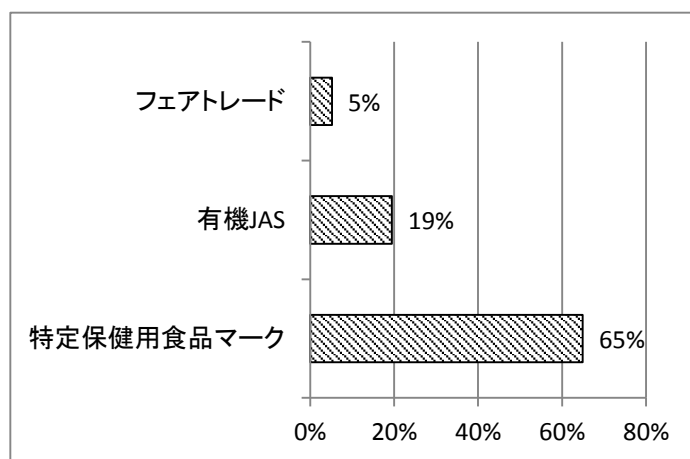
消費社会の進展に伴い、中学生はさまざまな物資やサービスに囲まれている。また、スマートフォンやコンピュータなどの情報通信サービスが身近に存在し、いろいろな情報を得られ、多種多様な商品を手軽に比較し、選択することができる。このような状況において、自分の生活に必要なものを適切に判断し、購入する能力を身につけることが重要である。また、消費者の権利と責任や環境に配慮した消費について学習し、自分の消費行動が、自分のためだけでなく、環境に配慮した買い物や消費による社会貢献ができることを知り、社会とつながる消費行動ができる生徒を育てたい。そこで、3年間を通して、発達段階に応じた指導をすることにより、自分の消費行動の重要性に気づき、適切な消費行動の仕方を身につけることを目指していく。

〔生徒観〕(1年B組 男子21名 女子18名)

アンケートの結果より、買い物をするときには、値段、味、期限を重視する生徒が多い(図1)。また、特定保健用食品マークの意味は65%が理解していたが、有機JASマークやフェアトレードマークはどちらも理解している生徒は少なく、有機JASマークやフェアトレードマークはあまり知られていないと考えられる(図2)。そこで、消費行動への関心・意欲を高めることを第一の目標とし、3年間を通じた消費生活の学習の基盤作りをする。まずは、消費行動に理由づけをし、段階を踏んで意思決定をしていくことにより、社会へ影響を及ぼす消費行動の大切さに気付かせる。また、そのために、商品からさまざまな情報を得られることに注目させる。



【図1】買い物をするときを考慮するポイント



【図2】マークの意味を知っていると答えた人数

〔指導観〕

3年間の学習を通して、個人や家族の利益を求める消費行動から、社会や国際的動向、未来を見つめた消費行動ができる生徒を育成する。そのための導入として、本時では、商品からさまざまな情報を得ることができることを知り、消費行動の大切さに気付かせる。同じ種類の食品を比較し、表示やマークに関する情報を調べることにより、関心を高めていく。また、調べた情報を班で共有することにより、さらに知識を深めることができる。それをもとに、自分の消費行動を振り返り、新たな視点を知り、関心・意欲の向上につなげていく。生徒の思考力・判断力・表現力を深めるために、学習ノートの工夫や話し合い活動を充実させ、よりよい消費行動ができるようにする。

3 題材の目標

自分や家族の消費生活や、物資・サービスの適切な選択に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任を考えた消費行動について考え、これからの自分の消費行動を工夫する。

4 題材の評価規準

- ・自分や家族の消費生活について関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解している。
【関心・意欲・態度】【知識・理解】
- ・販売方法の特徴について理解し、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
【知識・理解】【技能】
- ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践することができる。
【工夫・創造】

5 指導計画

(1)本題材の指導と評価の計画(9時間扱い)

時間	学習内容	評価規準・評価方法	関	創	技	知
1 (1年)	○家庭生活と消費 意思決定のプロセス	・物資やサービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。【技】 (学習ノート) ・商品の選択の意思決定の流れを理解している。【知】 (学習ノート)			○	○
2 本時 (1年)	○生活情報の活用 商品の価格	・商品購入時に必要な情報を分析しながら整理できる。【技】(学習ノート) ・商品購入時の情報の必要性を理解している。 【知】(学習ノート)			○	○
3 (1年)	○消費者の権利と責任①	・消費者の権利や責任ある行動に関心をもちて考えようとしている。【関】(学習ノート) ・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。【知】(学習ノート)	○			○
4 (1年)	○環境に配慮した生活	・意見交換しながら、環境に配慮した生活をどのようにすればよいかを考えている。【関】 (ノート・話し合いの様子) ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。【知】(学習ノート)	○			○

5 (2年)	○持続可能な社会に向けて①	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活を点検し、環境に配慮した消費生活について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。【工】(報告書・発表・学習ノート) ・環境に配慮した消費生活に関する知識を身につけている。【知】(発表・挙手) 		○		○
6 (3年)	○販売方法と支払い方法	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な販売方法に関心をもち、その利点と問題点について考えようとしている。【関】(学習ノート) ・中学生の関わりの深い販売方法の特徴についてわかる。【知】(学習ノート・発表) 	○			○
7 (3年)	○消費生活のトラブルを防ごう	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活のトラブルについて積極的に解決しようとしている。【関】(学習ノート) ・消費者を支える機関と法律について理解している。【知】(学習ノート) 	○			○
8 (3年)	○消費者の権利と責任②	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の責任を果たす視点で、自分や家族の消費生活のあり方を改善しようとしている。【関】(学習ノート・発表) ・基本的な権利と責任について理解している。【知】(話し合いの様子・発表) 	○			○
9 (3年)	○持続可能な社会に向けて②	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活について関心をもち消費生活のあり方について改善しようとしている。【関】(学習ノート) ・自分や家族の消費生活について関心をもち実践を通して自分なりに工夫し、改善しようとしている。消費や環境に配慮した生活を改善しようとしている。【工】(学習ノート・発表) 	○	○		

(2)学習のつながり

	前 時	本 時	次 時
学習目標	物資・サービスの選択、購入及び活用についての意思決定の流れがわかる。	商品選択の情報源を知り、価格の決め方や表示・マークが示している内容がわかり、安全性や環境を考慮した選択の重要性がわかる。	消費者の権利と責任について理解する。
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物資、サービスについて知る。 ・ハムを教材とし、意思決定の流れに沿って買い物体験をし、適切な買い物の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培方法、生産地、製造方法の異なる商品から読み取った情報から、安全性や環境を考慮した選択の必要性を考える。 ・自分の生活の仕方に合わせて商品を選択するための商品から、読み取れる情報を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の8つの権利と5つの責任について知る。 ・班でロールプレイングをし、シナリオの消費行動の問題点、問題発見後の行動を考える。

6 本時の指導 (2 / 9 時間)

(1)小題材名

生活情報の活用と商品の価格

(2)本時の目標

商品選択の情報源を知り、価格の決め方や表示・マークが示している内容がわかり、安全性や環境を考慮した選択の重要性がわかる。

(3)本時の評価規準

	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解
おおむね 満足			商品購入時に必要な情報を分析しながら整理できる。	商品購入時の情報の必要性を理解している。

(4)本時の展開

2 / 9 時間

学習過程	時配	学習活動	教師の指導と支援	●評価(方法)・資料
課題をつかむ	3	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習内容の確認 ○本時の学習内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定のプロセスを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定のプロセスの揭示物 ・学習ノート
		商品を購入する時に必要な情報を読み取ろう		

<p>追求する</p>	<p>30 ○商品の特徴を調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【調べる商品】</p> <p>○ブロッコリー①</p> <p>○ブロッコリー②</p> <p>○チョコレート</p> <p>○お茶</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーや資料、インターネットなどを用意する。 ・資料の提示を工夫し、多くの情報から適切な情報を収集・整理できるようにする。 ・資料から次のことを読み取れるように、助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の実物 ・商品の情報カード (マークや産地などが分かるもの) ・掲示物、資料 ・デジタルカメラ ●商品購入時に必要な情報を分析しながら整理することができる。 <p>【技能】(学習ノート)</p>
	<p>《資料から読み取れる情報》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有機栽培 有機JASマークの意味、有機栽培の説明、利点、課題 ○フードマイレージ 白地図(産地からの距離、二酸化炭素排出量を記載したもの) フードマイレージの説明 地球温暖化の影響がわかる写真 ○冷凍食品 利点、注意点、歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ○フェアトレード 利点、課題、フェアトレードマークについての説明 ○特定保健用食品 特定保健用食品マークの説明、利点、注意点 ○地産地消 利点、課題 	
<p>○班員に自分で調べた商品について説明する。</p> <p>○他の人が調べた表示の意味や商品の違いを知り、商品には多くの情報があることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マークは、教科書 P214,P215 を参考にするように助言する。 ・デジタルカメラを利用し、班員に提示できる資料を得られるようにする。 ・班員に、商品の特徴や良い点、課題を伝えるように助言する。 ・他の人が調べた表示の意味や商品の違いを知り、商品には、多くの情報があることに気付かせる。 		

深 め る	7	<p>○自分や班の人が調べたことを聞き、感じたことや今後の生活の中で、買い物をする時に考えていこうと思ったことを記入する。</p> <div data-bbox="293 297 727 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで買い物をする時に表示やマークなどは見ていなかったが、これからは見ようと思う。 ・同じ商品なら、千葉県産の食品を買おうと思った。 ・フェアトレード、有機栽培、特定保健用食品についてわかったので、これからは考えて買っていこうと思う。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたことだけでなく、班員が調べたことについても考えるように助言する。 	
ま と め る	10	<div data-bbox="293 925 1107 994" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>商品を購入する時に必要な情報を読み取ることができたか</p> </div> <p>○自分で調べたり、班の人が調べたことを聞いたりして感じたことや今後の生活の中で買い物をする時に考えていこうと思ったことを発表する。</p> <p>○自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を聞き、さまざまな考えがあることに気付かせる。 ・安いものを選ぶだけでなく、安全性や環境への配慮など、自分の生活の仕方に合わせて購入することが大切であることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●商品購入時の情報の必要性を理解している。 <p>【知識・理解】 (発表、学習ノート)</p>